

1. 科目名 (単位数)	地域福祉論 (4 単位)	3. 科目番号	SBMP2104
2. 授業担当教員	矢野 亮		SSMP2104
4. 授業形態	講義、グループディスカッション・作業及び発表	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	本講義では地域福祉の基本的な考え方をはじめ、地域福祉に関わる組織・団体や専門職、住民の主体形成の概念、福祉行財政の実施体制や福祉計画の意義、包括的支援体制の考え方などについて学ぶ。現代の地域福祉を取り巻く問題として社会的孤立や 8050 問題、生活困窮者支援、災害時の支援などについても取り扱う。本科目は社会福祉士および精神保健福祉士受験資格の指定科目である「地域福祉と包括的支援体制」に対応するものである。		
8. 学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 地域福祉の基本的な考え方（概念と理論、歴史など）、展開、動向について理解できる。 2. 地域福祉における主体と対象を理解し、住民の主体形成の概念を理解できる。 3. 地域福祉を推進するための、福祉行財政の実施体制と果たす役割について理解できる。 4. 地域福祉計画をはじめとした福祉計画の意義・目的および展開を理解できる。 5. 包括的支援体制の考え方と、多職種及び多機関協働の意義と実際について理解できる。 6. 地域生活課題の変化と現状を踏まえ、包括的支援体制における社会福祉士及び精神保健福祉士の役割を理解できる。 		
9. アサイメント (宿題) 及びレポ ート課題	各回の授業の最後に、コメント課題を入力し提出していただきます。授業の出席は、受講態度・参加姿勢等に加え、コメント課題の提出をもって出席といたしますので、ご留意ください。		
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 『最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座 6 地域福祉と包括的支援体制』中央法規。 【参考書】 『社会福祉学習双書』編集委員会編『社会福祉学習双書 2021 第 8 巻 地域福祉と包括的支援体制』全国社会福祉協議会。 東京福祉大学編『新・社会福祉要説』ミネルヴァ書房。 東京福祉大学編『保育児童福祉要説』中央法規。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 <ul style="list-style-type: none"> ・6 つの目標について関心を高め、意欲的に取り組むことができたか。(関心・意欲・態度) ・6 つの目標について学習し、理解することができたか。(知識・理解) ・6 つの目標について思考し、考察を深めることができたか。(思考・判断・実践) ○評定の方法 <ol style="list-style-type: none"> 1. 受講態度・参加姿勢等 40% (全授業の 3/4 以上の出席が必要) 遅刻 (10 分程度迄) は 3 回で 1 回休みとなる。 2. 試験及びレポート 60% 		
12. 受講生への メッセージ	授業の主人公は、この授業を履修している皆様、すなわち学生自身です。授業は、この授業を履修している学生全員が授業に出席して良かったと思える授業になるように構成しています。東京福祉大学では、基本方針として学生個人の思考力、創造力、問題解決能力を育成することを目的としています。この目標を達成するためには、授業中はつねに集中力を保って受講すること、積極的な態度で授業に参加することが望まれます。当然のことですが、授業中は私語や居眠りをしないことや携帯電話のスイッチを切っておくことが基本的なマナーとなります。授業は、正当な理由がない限り、欠席、遅刻、早退をしないでください。万一、欠席や遅刻、早退をしたという場合にはその理由を必ず担当教員に書面をもって報告してください。また、各回のコメント課題やレポートの提出日を厳守してください。授業の主人公として、授業中にはご自身の考えたこと等を積極的に発言・発表していただく機会も設けます。発言や発表者どうしがお互い意見を聞き共有することで、学びがより豊かで深いものとなります。ぜひ貴重な学習機会へ積極的に参加してください。		
13. オフィスアワー	初回の授業時にお伝えいたします。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	オリエンテーション (シラバス、発表、講義概要、試験についての説明等、その他)	事前学習	事前に講義概要について読んでおくこと。
		事後学習	地域福祉論の学習目標についてまとめる。
第 2 回	地域社会の概念と理論	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 3 回	地域社会の変化	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 4 回	多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニーズ	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 5 回	地域福祉と社会的孤立	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 6 回	地域包括ケアシステム	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 7 回	生活困窮者自立支援の考え方	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第 8 回	包括的支援体制とは	事前学習	指示した教科書部分の熟読

		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第9回	地域共生社会の実現に向けた各種施策	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第10回	地域福祉ガバナンス	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第11回	多機関協働を促進する仕組み	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第12回	多職種連携	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第13回	福祉以外の分野との機関協働の実際	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第14回	地域福祉の概念と理論	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第15回	地域福祉の歴史①ー地域福祉の源流(欧米、戦前期)、戦後復興期における地域福祉ー	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第16回	地域福祉の歴史②ーコミュニティケアの移入と地域福祉の展開ー地域共生社会の構築に向けた地域福祉の政策化ー	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第17回	地域福祉の動向	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第18回	地域福祉の推進主体	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第19回	地域福祉の主体と福祉教育	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第20回	地域を基盤としたソーシャルワークの方法	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第21回	住民の主体形成に向けたアプローチ	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第22回	非常時や災害時における法制度	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第23回	非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第24回	福祉計画の定義、目的、機能と歴史的展開	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第25回	市町村地域福祉計画・都道府県地域福祉支援計画の内容	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第26回	福祉計画の策定過程と方法	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第27回	福祉計画におけるニーズ把握の方法・技術、福祉計画における評価	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第28回	国の役割、都道府県の役割、市町村の役割	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第29回	国と地方の関係、福祉行政の組織および専門職の役割	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読
第30回	福祉における財源	事前学習	指示した教科書部分の熟読
		事後学習	配布資料、該当部分の教科書の熟読